

「西條」

令和4年度 第2号

学ぶ喜び、仲間と共に、ICTもバッチリ活用！

校長 光安 淳子

5月に全校生徒に行ったある意識調査によると、『人と仲良くしたり、友人関係をよくしたりする方法を知っている』という問いに、80.5%の生徒が「とてもそう思う、少しそう思う」と肯定的な回答をしています。これは、全国平均値60.3%からみると20%以上も高い値となっています。さらに、『学習内容を理解するため自分なりの学習の仕方がある』という問いに、63%の生徒が「とてもそう思う、少しそう思う」と肯定的な回答をしています。この値も、全国平均の46.3%から16%以上も高い値となっています。このことは、本校の生徒は、すでに、人との関係性を築くための、また、主体的に学習を進めたための方法をすでに身に付けているということを示しており、大いに勇気づけられる結果でした。

本校では、本年度、「学ぶ喜び、仲間と共に、ICTもバッチリ活用！」を合い言葉に、教育活動に取り組んでいます。私たち教員が学ぶための講師としてお迎えしている金沢学院大学教授 多田孝志先生が、「子供がもつ潜在能力、可能性を信じるのが大切である」といつも話してくださるとおり、私たちは、生徒がもつ無限の可能性により磨きをかけ、西條魂（西條プライド）で一人一人が生き生きと輝く生徒の育成に努めます。西條中生の躍動する姿がたくさん見られる1年となるよう頑張ります！！

◎1学期のアクションプランの取組について◎

アクションプラン1 課題に向けて、自ら主体的に取り組む生徒の育成

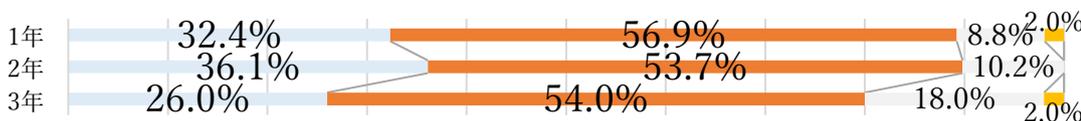
アクションプラン1のキーワードは、「学ぶ喜び」です。生徒たちは、各活動に目的をもって取り組むことができました。2学年の英語科の授業では、「自分の夢をかなえるために何をするかを相手に伝えよう」という課題に対して、生徒たちは新出表現の用法についてグループ内で学び合い、その後練習することで、その新出表現を加えて伝え合うことができました。今後も、生徒たちが課題に向けて、主体的に取り組もうとする授業展開や学習活動を工夫したいと思います。また、生徒たちは学習の振り返りにおいて、学びを実感できました。昨年度に引き続き、生徒会の学力向上委員会が中心となって定期考査の直前に全校一斉確認テストを実施しました。満点者（リストは一階Aホールに掲示してあります。）が多く、生徒たちは達成感をもって定期考査に臨んだ様子が見られました。今後も、各授業においても、継続的にまとめや振り返りの活動を組み込んでいきたいと思っています。

【学校評価アンケート(生徒)の結果】

私は、課題の解決に向けて、授業に意欲的に取り組むことができたと思う。



私は、授業中や確認テストにおける「振り返り」を通して学びを実感(気付き、理解、達成等)できたと思う。



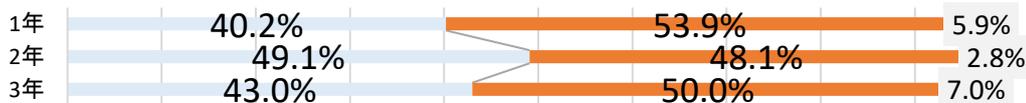
A:よく当てはまる B: やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:当てはまらない

アクションプラン2 よりよい人間関係を築き、互いに尊重し、高め合う生徒の育成

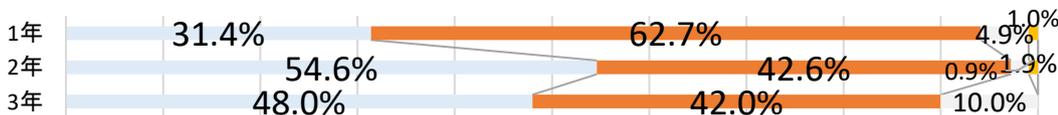
アクションプラン2のキーワードは「**仲間と共に**」です。今年度は、「よりよい学級集団づくりのプログラム」の年間指導計画を作成し、計画的に、朝学習や学級活動において、対人関係ゲーム等の、仲間と関わり合う活動を設けています。下のアンケートの数値の高さから、友達との関わり合いの中で、友達よさを感じ、友達を認め、賞賛する機会が多くあったといえます。今後も、互いのよさを認め、尊重し、よりよい人間関係を築くことができるように、Q-U等の各調査を活用し、生徒理解に努めます。また、互いの思いや立場を尊重して、相手の話を聞いたり自分の思いを伝えたりすることができたと思えた生徒の数値も高く、今後も、関わり合いの機会をより多く設定したいと考えています。

【学校評価アンケート(生徒)の結果】

私は、学級の中で、互いのよさや違いを認め合うことができたと思う。



私は、互いの思いや立場を尊重して、相手の話を聞いたり自分の思いを伝えたりすることができたと思う。



A:よく当てはまる B: やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:当てはまらない

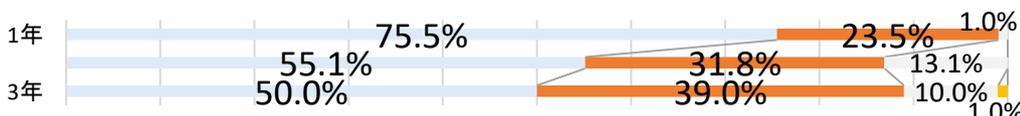
アクションプラン3 ICT 機器を、自分の学びに活用することができる生徒の育成

アクションプラン3のキーワードは「**ICT もバッチリ活用**」です。今年度は、昨年度以上に、ICT 機器を自分の学びに活用できるよう、様々な場面で ICT 機器を取り入れています。朝学習では、「e-ライブラリ」というアプリを用いて、各自の学習ペースや希望分野に合わせてドリル学習を行っています。また、今年度、「西條ワープロ検定」を取り入れ、タイピング等の基本的スキルの向上を図っています。

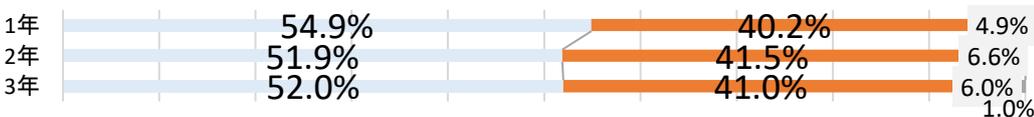
下のアンケートの数値の高さから、ICT 機器の活用による学びの実感ができた生徒が多くいたようです。今後も、ICT 機器のルールやマナーを守りつつ、一層の活用ができるよう、「どの場面で」、「どのように」活用していくかを工夫し、生徒が主体的に自分の学びを深めていく手立てを探っていききたいと思います。

【学校評価アンケート(生徒)の結果】

私は、タブレットのルールを守って使用することができたと思う。



私は、学びを深めるために ICT 機器を活用できたと思う。



A:よく当てはまる B: やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:当てはまらない